

平成 29 年度 地域活性化検討専門部会 の取り組み事項について

検討事項

(1) 今年度の取り組みについて

- ・各取り組みの実施内容等の確認
- ・各取り組みの評価と今後の進め方

(2) 来年度の取り組みについて

- ・取り組み事項の検討

(3) その他

黒川地域 農と環境を活かしたまちづくり 平成29年度 全体スケジュール

専門部会 (実施方針)	No.	実施項目	概要	実施箇所	実施体制(案)	実施時期	スケジュール												備考
							6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
協議会等	1	協議会				年2回				●								●	
	2	専門部会				年2回 ×3部会				←部会ごとに開催 7月～8月							←部会ごとに開催 1～2月		
	3	地元意見交換会		黒川公会堂		年2回	● 6/29										● 報告と来年度の検討		
	4	その他・イベント等									11/11 収穫祭 ●		● 11/25 しんゆりマルシェ				● 11/19 JA農業まつり		
農産物等研究専門部会 地元農産物の販売促進	農1	大学と農家の意見交換会の開催	大学と地元農業者の相互の取組みに関する情報交換を行い、今後の黒川地域の野菜づくり等への連携につなげる。	明治大学 黒川農場	主催：川崎市農地課 協力：明治大学 対象：地元農業者等	H29年度中											→ 実施		
	農2	アスパラガスの新たな栽培方法「採りっきり栽培」の実施(地域連携による農特産物づくりの検討等)	新規ホーラーを使用し、一作で採りきる「採りっきり栽培」の展示ほ場を作り、栽培講習会を行うなどし、新たな特産物・収穫体験としての可能性を検討する。	黒川上地区	主催：明治大学 事務局：川崎市農地課 対象：地元農業者等	H28年12月～H29年度	4月 巡回検討会 ●	6/6 病害虫講習会 ●									→ ほ場巡回指導 ●		
	農3	農産物に関する講習会の開催	品種比較、土づくり、防除等栽培に役立つ講習会を、大学と連携して開催する。	明治大学 黒川農場	主催：川崎市農地課 協力：明治大学 対象：地元農業者等	H29年 予定											→ 講習会 ●		
	農4	地元農業者との農産加工品等に関する検討	地元農業者等を対象に、農産加工品開発及び販売に向け、意見交換会や講習会等を行う。	明治大学 黒川農場	主催：川崎市農地課 協力：神奈川県、セレスモス 対象：地元農業者等	H29年度中											→ 意見交換 ●		
	農5	黒川野菜・果物等のPR(農家による黒川野菜の直売の実施)	明治大学黒川農場の収穫祭等で、地元農業者が連携して野菜を販売し、黒川産の農産物のPRを行う。	明治大学 黒川農場	主催：地元農業者 協力：明治大学 対象：明治大学黒川農場収穫祭来場者	H29年 11月11日 (収穫祭)											→ 調整 ●		
農や里山を体感するイベントの実施・PR 地域活性化検討専門部会	地1	サイン・散策マップの検討・試行	散策等の適切な誘導、地域の紹介、マナーアップなども含めたサインの検討・試行を行う。(里地里山保全活用専門部会と連携)	黒川地区 (黒川駅～ 明治大学黒川農場間)	主催：和光大学 制作：和光大学生・卒業生 協力：地元農業者、明治大学、小田急電鉄、セレスモス 事務局：麻生区役所	H29年 11月											→ 調整・制作 ●		
	地2	里山景観づくりの検討・試行	黒川地域の景観向上や来訪者を楽しませるため、緑地や農地に菜の花等季節の草花を植える「里山の景観づくり」の検討を行う。	黒川海道特別緑地保全地区等	主催：地元農業者(黒川はるひ野管理組合、黒川緑地管理協議会など)、川崎市みどりの協働推進課	H29年度											→ 調整・検討 ●		
	地3	HP等による取り組み紹介とイベントPR	農と環境のまちづくりの取り組みを積極的にPRするため、コンテンツやPR媒体の充実を行う。	—	担当：麻生区役所	通年											→ 随時情報発信 ●		

専門部会 (実施方針)	No.	実施項目	概要	実施箇所	実施体制(案)	実施時期	スケジュール									備考		
							6	7	8	9	10	11	12	1	2		3	
農や里山を体験するイベントの実施・PR	農と地域環境の 体感	地4 グリーンツーリズム	【トマト&ブルーベリー収穫体験の実施】 市民の方に農産物の収穫体験と、とりたてを食べる食農体験イベントを実施	明治大学 黒川農場、 市の農地	主催：麻生区役所 協力：明治大学 対象：市内の20~30代の男女	H29年 7月22日	調整	7/22 募集	アンケート集計分析									
			【ダイコンの収穫体験と加工調理体験】 市民の方を対象にダイコンの収穫体験を実施し、明治大学黒川農場で加工調理までを体験できるイベントにする。	黒川農地、 明治大学黒川農場	主催：麻生区役所 協力：地元農業者 明治大学 対象：市内の小中学生と保護者	H29年 12月23日					調整・検討	12/23 募集	アンケート集計分析					
	新たな魅力の発見・創造	地5 ＜地域農産物等の活用＞ 菜の花プロジェクト	菜の花の栽培から菜種油の搾取を行い、菜種油を活用したスイーツづくり及び販売を実施	栽培：区内各所 販売：黒川農場	主催：明治大学教員と学生、 地元農業者、かえるプロジェクト(市民団体)、 地元店舗 協力：麻生区役所	H29年 11月11日 (収穫祭)		プロジェクトの実施				スイーツ等の販売 (11/11収穫祭)						
		地6 里山アート制作と展示	【里山アートサンポ】 地域内の農と里山環境を活かした里山アート展示を実施 ・アーティストによる作品展示 ・里山アートをめぐるツアー	黒川地域	主催：和光大学 制作：和光大学生・卒業生 協力：地元農業者、明治大学、 小田急電鉄 事務局：麻生区役所	H29年 11月		調整・制作			設置	展示	評価と方針検討					
里地里山保全活用専門部会	里地里山の 体験・利活用	里1 ＜里山の利活用＞ 竹あんどんづくり	黒川地域の緑地の竹を活用し、地元小中学生とともに、竹あんどんづくりを実施 将来的に地域のお祭りやイベント利用も想定	・黒川地内緑地 ・農業用管理倉庫	主催：川崎市みどりの協働推進課 協力：地元農業者、明治大学 対象：地元小・中学生	H29年 11月11日 (収穫祭)		調整・検討		11月上旬 竹の切り出し	イベント実施 (11/11収穫祭)							
		里2 ＜里山の保全管理＞ 里山保全活動体験	里山での保全活動体験(草刈りや竹伐りなど)を行い、里山の保全活動の担い手づくりにつながるイベントを検討	黒川地域 (黒川よこみね緑地)	主催：川崎市みどりの協働推進課 協力：地元農業者、明治大学 対象：地元住民	H29年度		調整・検討									2/10 実施	

地-1 サイン・散策マップの検討・試行

■ 計画概要

<p>概要・目的</p>	<p>概要 ・散策等の適切な誘導、地域の紹介、マナーアップなども含めたサインの検討・試行を行う。(里地里山保全利活用専門部会と連携)</p> <p>目的 【散策環境の向上】来訪者が快適に散策できたり、目的地へ円滑にたどりつける環境を確保すること 【マナーアップ】ゴミのポイ捨てや農地の無断立ち入りなど注意喚起をして、来訪者のマナー向上を促すこと 【地場材の活用】黒川地域の竹や樹木などの利活用を促す。</p>
<p>実施体制、対象者等</p>	<p>主 催：和光大学（制 作：和光大学教員と学生） 協 力：地元農業者、小田急電鉄、セレサモス、黒川営農団地管理組合（農業用倉庫） 事務局：麻生区役所 対象者：黒川地域の来訪者</p>
<p>実施内容</p>	<p>実施予定日 平成 29 年 11 月 10 日（金）～11 月 19 日（日）</p>
	<p>実施場所 黒川駅から明治大学黒川農場への誘導 <黒川駅～汁守神社～セレサモス～農業用倉庫～広町緑地～明治大学黒川農場></p>
	<p>周知・PR 散策マップの配布（黒川駅、セレサモス、町会回覧等）</p>
	<p>内容</p> <p>①サインの設置 サインの制作に当たっては、里地里山保全利活用専門部会とも連携していく。 ・総合案内サイン（黒川駅から明治大学黒川農場までの全体マップ） ・誘導サイン（散策ルート誘導のためのサイン） ・位置サイン（里山アートの紹介サイン）</p> <p>②散策マップ ・「農と環境を活かしたまちづくり」の取り組みの PR や里山アートの設置場所の紹介なども併せて、暫定版の散策マップを配布する。</p>
	<p>予算等 サイン、散策マップの制作費</p>
<p>その他</p>	<p>—</p>

■実施結果

実施概要	実施日時	平成 29 年 11 月 10 日 (金) ～11 月 19 日 (日)
	実施場所	黒川駅から明治大学黒川農場への誘導 <黒川駅～セレサモス～農業用倉庫～広町緑地～明治大学黒川農場>
	参加者数	アート鑑賞者：約 1,000 名 (参考：収穫祭来場者 1,786 名、パンフレット配布数等より推測)
実施状況 (写真等)	①総合案内 (黒川駅前)	②里山アート作品の紹介
		
	③誘導・注意喚起サイン (黒川駅前～明治大学黒川農場周辺)	
		
	④散策ルートマップ (2,000 部)	
主催者や参加者の声 (主な意見、感想)	・ 誘導サインは、歩くモチベーションにもなるとの意見があった。	
評価と今後の進め方 等 (専門部会での検討事項)	・ イベント実施の看板に、来訪者のみならず地元の方も足を止める人が多く見受けられた。 ・ 恒常的なサイン設置の必要性の検討。	
その他	-	

地-2 里山景観づくりの検討・試行

■ 計画概要

概要・目的		<p>概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黒川地域の景観向上や来訪者を楽しませるため、緑地や農地に菜の花等季節の草花を植える「里山の景観づくり」の検討・試行を行う。 <p>目的</p> <p>【散策環境の向上】来訪者が黒川の自然を楽しみながら散策できる景観を形成する。</p> <p>【認知促進】里山環境に適した花景観を創出することで、黒川の新たな魅力として PR し、都市の中で貴重な環境が残っている現状を多くの人に伝える。</p>
実施体制、対象者等		<p>協力：地元農業者等</p> <p>対象者：黒川地域の来訪者</p>
実施内容	実施予定日	未定
	実施場所	黒川海道特別緑地保全地区ほか 黒川地域
	周知・PR	—
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・里山の風景と調和した花の景観を形成するため、農作業への影響を考慮しつつ、実施を検討する。
	予算等	—
その他		—

地-3 HP 等による取り組み紹介とイベントPR

■ 計画概要

概要・目的		概要	<ul style="list-style-type: none"> ・農と環境のまちづくりの取り組みを積極的にPRするため、コンテンツやPR媒体の充実 ・ホームページの更新充実、収穫祭時での紹介パネルの作成、各種取り組みでのアンケートを実施
		目的	<p>【取り組みのPR・情報発信】</p> <p>「農と環境を活かしたまちづくり」に関連した取り組みのPRや明治大学・川崎市 黒川地域連携協議会、各専門部会の審議内容などの情報を発信し、市民に周知する。</p> <p>【担い手づくり】</p> <p>「農と環境を活かしたまちづくり」の取り組みやイベント等の参加募集、実施後の活動報告などを行い、取り組みに賛同し、活動に協力してくれる担い手づくりにつなげる。</p>
実施体制、対象者等		担当：麻生区役所 アンケート対象者：収穫祭来場者	
実施内容	実施予定日	収穫祭でのパネル展示・アンケート：平成29年11月11日（土） ホームページ：随時更新	
	実施場所	パネル展示・アンケート：明治大学黒川農場 本館1階会議室	
	周知・PR	麻生区ホームページ（インターネット）	
	内容	<p>①取り組みの紹介とPR</p> <p>「農と環境を活かしたまちづくり」に関連した取り組みのPRや明治大学・川崎市 黒川地域連携協議会、各専門部会の審議内容などの情報を発信し、市民に周知する。</p> <p>②イベントの参加募集と活動報告</p> <p>「農と環境を活かしたまちづくり」に関連したイベント等の参加募集、実施後の活動報告などを行う。</p> <p>③イベントアンケート調査</p> <p>来場者に向け、農と環境を活かしたまちづくりに関するアンケート調査を行う</p>	
	予算等	アンケート印刷費、パネル印刷費、アンケート回答者へのノベルティ代	
その他		-	

■実施結果

実施概要	実施日時	収穫祭でのパネル展示・アンケート：平成 29 年 11 月 11 日（土） ホームページ：随時更新
	実施場所	パネル展示・アンケート：明治大学黒川農場
	参加者数	収穫祭アンケート 183 件（昨年 149 件）
実施状況 (写真等)	<p>・収穫祭におけるパネル展示、アンケートを行った。</p>   <p>・黒川の風景を用いたノベルティグッズを作成し、アンケート謝礼として配布した。</p>  <p>・麻生区ホームページにおいて「農と環境を活かしたまちづくり」として情報を発信した。</p> 	
主催者や参加者の声 (主な意見、感想)	<p>・竹あんどんについては約 7 割が、参加したい、興味がある等と回答。</p> <p>・美術展示については約 8 割が、鑑賞したい、興味がある等と回答。</p>	
評価と今後の進め方 等（専門部会での検討事項）	<p>・アンケート結果から、農と環境の取り組みの認知度が 26.8%と、HP 等の周知により認知度が向上してきた。（昨年度 22.8%）</p> <p>・引き続き様々な広報媒体を活用した取り組みの周知に努める。</p>	
その他	—	

地-4-1 <グリーンツーリズム>

トマト&ブルーベリー収穫体験の実施

■ 計画概要

概要・目的	概要	・20～30代男女のモニターを募集し、トマトとブルーベリーの収穫体験と、とりたてを食べる食農体験イベントを実施
	目的	【農体験のPR】 黒川産の野菜や果物のPR。参加者に農業を楽しみ、興味関心を深めてもらい、黒川や農業を身近に感じてもらうきっかけとする。 【参加者以外へのPR】 報道取材やSNSによる発信により、参加者以外へも幅広い麻生区の農業についての周知を図る。 【ニーズ調査】 若い世代の農業についてのニーズや活性化のための意見をいただき、今後の取り組みの参考にする。
実施体制、対象者等	主催：麻生区役所 協力：明治大学黒川農場、セレスモス、川崎市農業振興センター農地課 対象者：川崎市在住・在学の20～30代の男女（モニターとして、当日及び後日送付のアンケートにご回答いただける方）	
実施内容	実施予定日	平成29年7月22日（土） 9：30～13：30 9:20 黒川駅南口集合
	実施場所	・ブルーベリー収穫体験：川崎市が借りているブルーベリー畑 ・トマトの収穫体験&農場見学：明治大学黒川農場 ・座談会&アンケート調査等：明治大学黒川農場
	周知・PR	・麻生区ホームページ内での告知 ・タウンニュース掲載 ・チラシの配布（イオン掲示板、食品衛生協会経由飲食店舗、区役所・市民館ラックなど）
	内容	①収穫体験 ・ブルーベリーの収穫 ・トマトの収穫 ②明治大学黒川農場の見学 ・参加者に明治大学黒川農場を見学してもらう。 ③座談会とアンケート調査 ・収穫体験や広報についてなど、今後の様々な取り組みに対するニーズや改善点などの意見をいただき、今後の取り組みの参考にする。
	予算等	参加費無料
その他	-	

■実施結果

実施概要	実施日時	平成 29 年 7 月 22 日 (土) 9:30~13:30
	実施場所	<ul style="list-style-type: none"> ・ブルーベリー収穫体験：川崎市が借りているブルーベリー畑 ・トマトの収穫体験&農場見学：明治大学黒川農場 ・座談会&アンケート等：明治大学黒川農場
	参加者数	14 名 (申込：22 名、欠席連絡有 3 名、連絡なし 5 名)
実施状況 (写真等)	<p>9:30 黒川駅南口</p> <p>9:50 ブルーベリー畑</p> <p>10:10 明治大学黒川農場到着 ・農場見学 ・トマトの収穫体験</p> <p>12:00 黒川農場本館 2 階 ・座談会 ・アンケート記入</p> <p>13:20 セレサモスにて解散</p>	   
主催者や参加者の声 (主な意見、感想)	<ul style="list-style-type: none"> ・麻生区にこんな取組があるとは知らなかった。 ・収穫体験は、よい経験になった。 ・区内に農地があることが分かったり、農場に入ることができて、嬉しい驚きだった。 ・20~30代が対象だったので、1人でも参加しやすかった。 	
評価と今後の進め方 等 (専門部会での検討事項)	<ul style="list-style-type: none"> ・収穫できる量が多く、参加者の満足度が高かった。また、座談会を実施したことで参加者同士の交流が図れた。 ・SNS やかわさきイベントアプリ等を活用した告知方法の検討。 	
その他	-	

地-4-2 <グリーンツーリズム>

ダイコンの収穫体験とピクルスづくり

■ 計画概要

概要・目的	概要	・市民の方を対象にダイコンの収穫体験を実施し、食品の加工までを通して体験し、農への興味・関心を深める。
	目的	【農体験のPR】 黒川産の野菜や果物のPR。参加者に農業を楽しみ、興味関心を深めてもらい、黒川や農業を身近に感じてもらうきっかけとする。
実施体制、対象者等	主催：麻生区役所 協力：地元農業者、明治大学黒川農場 対象者：川崎市在住・在学・在勤の小学生とその保護者（1組2人）	
実施内容	実施予定日	12月23日（土）
	実施場所	収穫体験：黒川地域内の畑 加工・試食：明治大学黒川農場
	周知・PR	・麻生区ホームページ内での告知 ・チラシの配布（イオン掲示板、食品衛生協会経由飲食店舗掲示、区役所・市民館ラックなど）
	内容	① ダイコンの収穫体験 ② 明治大学黒川農場の小清水客員教授による、加工品（ピクルス）づくりと試食
	予算等	参加費：400円
その他		

■実施結果



実施概要	実施日時	平成 29 年 12 月 23 日 (土) 9:20~12:15
	実施場所	収穫体験：黒川地域内の畑 加工・試食：明治大学黒川農場
	参加者数	26名 (申込：30名、欠席連絡有2名、連絡なし2名)
実施状況 (写真等)	<p>9:20 農業用管理倉庫前</p> <p>9:45 収穫体験</p> <p>10:35 ピクルスづくり・説明 11:45 旬の味覚の試食</p> <p>12:00 黒川農場本館 2 階 ・アンケート記入</p> <p>12:15 黒川農場にて解散</p>	  
主催者や参加者の声 (主な意見、感想)	<ul style="list-style-type: none"> ・ダイコン収穫と、明治大学の見学までできてとても有意義だった。 ・楽しい思い出ができてよかった。ピクルスの完成も楽しみです。 	
評価と今後の進め方 等 (専門部会での検討事項)	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートでは、全員が「満足」「ほぼ満足」と回答し、収穫体験、加工食品づくりともに、参加者の満足度が高かった。 	
その他	-	

地-5 <地域農産物等の活用>菜の花プロジェクト

■計画概要

<p>概要・目的</p>	<p><u>菜の花プロジェクトの概要</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・菜の花プロジェクトは、「農」「地域交流」「循環型資源」を念頭にモデル的な取り組みの1つとして、菜の花を栽培し、その油の利用と、廃油の資源化によるバイオマス資源の地域循環を目指している。 ・平成 26 年度から明治大学黒川農場の協力により圃場の一部（約 2a）にナタネを播種、収穫、菜種油を製造している。平成 29 年度も継続し、6 月頃に種取り、10 月に種蒔きを予定。 ・また、製造した菜種油を使用し、麻生区内の店舗と協働開発したクッキーを、明治大学黒川農場収穫祭で販売し、活動の PR を図る。 <p><u>菜の花プロジェクトの目的</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・休耕地の活用や里山景観の魅力向上のため ・地元農産物の活用した加工品開発 ・里地里山を活用して循環の仕組みを考えていくため 	
<p>実施体制、対象者等</p>	<p>主催：明治大学黒川農場、地元農業者、地元店舗、かえるプロジェクト（市民団体）等 協力：麻生区役所</p>	
<p>実施内容</p>	<p>実施予定日</p>	<p>菜の花の栽培：通年 商品の販売：平成 29 年 11 月 11 日（土） 収穫祭等</p>
	<p>実施場所</p>	<p>明治大学黒川農場</p>
	<p>周知・PR</p>	<p>収穫祭チラシ、市政だより、町内会回覧等</p>
	<p>内容</p>	<p>① 地元店舗と協力し開発した商品（全粒粉クッキーなど）の販売による活動の PR ② 旬の地場野菜を使用した親子料理教室の開催（3 回） ③ 地域内資源循環への理解を深めるための環境教育プログラム・教材の作成</p>
<p>予算等</p>	<p>—</p>	
<p>その他</p>		

■実施結果

実施概要	実施日時	平成 29 年度
	実施場所	明治大学黒川農場ほか
	参加者数	—
実施状況 (写真等)	<p>11月11日 収穫祭 クッキー販売</p> <p>明治大学の収穫祭に合わせ、活動の取り組み状況の報告や地元店舗と協力し開発した商品の販売・PR を実施した。</p>	 
	<p>地産地消の親子料理教室</p> <p>7・10・1月に親子料理教室を実施した。</p>	
	<p>域内資源循環への理解を深めるための環境教育プログラム・教材の作成</p> <p>小学校環境教育プログラム・教材の作成、小学生を対象とした実験事業を実施した。</p>	
主催者や参加者の声 (主な意見、感想)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度の収穫量は約90kg、搾油量は77kg。 ・ボランティアは現在約30名 	
評価と今後の進め方等 (専門部会での検討事項)		
その他	—	

地-6 里山アート制作と展示【サトヤマアートサンプォ 2017】

■ 計画概要

概要・目的		<p>概要 地区内の農と里山環境を活かした里山アート展示を試行的に実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アーティストによる作品展示 ・里山アートをめぐるツアー <p>目的 【地場材の活用】黒川地域の竹等を活用した作品を制作する。 【地域の魅力向上】黒川地域の里山にアート作品を展示することで、黒川地域の景観や里山の魅力のPRにつなげる。</p>
実施体制、対象者等		<p>主催：和光大学 制作：和光大学表現学部の学生、卒業生 協力：地元農業者、明治大学、小田急電鉄 事務局：麻生区役所</p>
実施内容	実施予定日	<ul style="list-style-type: none"> ・作品の展示：11月10日（金）～19日（日） ・ツアー実施：11月11日（土）と19日（日）
	実施場所	黒川駅から明治大学黒川農場の間
	周知・PR	<ul style="list-style-type: none"> ・麻生区役所ホームページ内での告知 ・チラシの配布 等
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ①和光大学表現学部の学生の作品 ②里山アートをめぐる散策ツアー
	予算等	製作費
その他		

■実施結果

実施概要	実施日時	平成 29 年 11 月 11 日 (土) ～11 月 29 日 (日)
	実施場所	黒川駅から明治大学黒川農場への誘導 <黒川駅～セレサモス～農業用倉庫～広町緑地～明治大学黒川農場>
	参加者数	アート鑑賞者：約 1,000 名（参考：収穫祭来場者 1,786 名、パンフレット配布数等より推測） ツアー参加者 18 名（昨年度 8 名）
実施状況 (写真等)	<p>●アート作品展示（合計 11 点、アートパフォーマンス 1 回）</p>     <p>●サトヤマアートサンポ 2017 ツアー（11/11、19）</p>  	
主催者や参加者の声 (主な意見、感想)	<ul style="list-style-type: none"> ・のんびりとした雰囲気の中、散歩とアートを楽しむことができて楽しかった。 ・里山の紅葉と作品が溶け込み、趣があり風流だった。 	
評価と今後の進め方 等（専門部会での検討事項）	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度と比べて、ツアー参加者も増え、アンケートも 41 人から集めることができ、8 割以上が「大変満足」「ほぼ満足」と回答。 ・地域の小学生と連携した作品作りや、汁守神社やセレサモスでの作品展示など地域に協力いただき作品の制作を行った。 	
その他	-	